

税制問題

問 建物評価基準の見直しは

答 村の判断ではできない



太谷 正治 議員

【税制の見直しについて】

**問** 固定資産税の優遇、建物の評価基準の見直しは。

**村長** 評価基準は総務大臣の任務として評価基準を定めることが規定され、それにより固定資産の価格を決定しなければならずと法律で定めています。国から地方交付税の交付を受け財政運営している中では、一村の考えでの税制の優遇ということも難しい状況であります。建物の経過年数に応じる減点補正率があります、村だけの判断で下げられません。特別の要



賑わう 第1回八方トレイル・ラン

因で建物が通常以上の損耗劣化した場合には、その状況を調査し減点補正できる場合があります。

【教育施策の充実について】

**問** 南北小学校の教育内容に違いはあるか。

**長** 北小は「元気で明るく今をがんばる北城の子供」南小は「学びあう、はげみあう、むつみあう」を学校教育目標として、それぞれの特色を生かした活動を展開しています。新学習指導要領が実地され、従来よりも各教科の指導内容が充実されました。両校で連絡を取り合って学習指導の進ちよく状況や指導内容の確認を行い、学習内容に格差がでないよう十分配慮しています。

**問** 学力等の格差があるか。

**長** 教育 両校の2年生から6年生まで本年実施したNRT検査結果では、国語・算数の正答率の平均はどの学年も全国平均を上回っていました。学力格差は認められず、あくまでも個々の学力の向上は、

学校教育施策の基本的方向性であり、基礎的な知識技能を習得するための取り組みを一層推進して参りたいと考えています。

【村長公約について】

**問** 観光の活性化、情報発信、インバウンド対策

**村長** 民間の観光客満足度調査や、その他のデータを踏まえ、観光地域づくりや観光戦略を立てていきます。局情報発信では、会員向にはFAX、電子メールでの発信に加え、専用サイトを6月より稼動しています。観光局発行を年4回発行しています。インバウンドではスノーリゾート信州プロモーション委員会事業に参加します。山岳基盤整備は白馬山案内人組合各山小屋の協力を得て、登山道の維持設備を継続すると共に、八方尾根自然研究路については環境省の直轄事業で整備が行われていますが、必要箇所については引き続き要望してまいります。